

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 2年 3月 18日

公表: 令和 2年 3月 23 日

事業所名 たけっこ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	1		
	2	職員の配置数は適切である	8	2		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10		毎日掃除は行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	3	ミーティングが足りないと感じる。	より職員が広く意見を言える場に参加できる環境整備を行っていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	1	アンケートの結果を詳しくは知らない。 職員へのフィードバックがほしい。	保護者様のアンケート結果を元に、より良い業務に繋げていきます。 職員に結果を周知していけるようにしていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	5	外部からの意見を取り入れてほしい。	評価の仕方を検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10			定期的なお子さんの発達に関する研修を行っている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	2		保護者様の要望やニーズを踏まえ、子どもさんの発達年齢に応じた計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	3		子どもさんの発達年齢に合わせたアセスメントを使用している。スタッフ全員でしっかりと共有できるように情報共有をしていきたい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	4	全職員で計画をある程度共有してほしい。	よくわからない、共有したいという意見があったので、しっかりと説明し共有していける機会を頻りに設けていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	2		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	3	チームではないことが多いと感じる。	より多くのスタッフの意見の基に考えていけるような場所を設定していく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9	1		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	3		時折1日の流れを伝えて終わってしまうことがあるので、日々しっかりと役割などを伝えていけるようにしていきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	4		日によって行っていない日も時折あるので、時間を作って行えるように指導していく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	1		
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	2		定期的なモニタリングを行い、お子さんに様子に合わせて内容を検討している。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—	—	医療的ケアが必要なお子様は現在いらっしゃいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—	—	医療的ケアが必要なお子様は現在いらっしゃいません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	1		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	5	他との関わりが少ないように思われる。	少ないのではないかと、よくわからないという意見があったので、助言や研修を受けたことが周知していけるように環境を整えていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	5		そういった機会はあまりないですが、保護者様のニーズや必要性などを検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	4		一部の職員が受けていることが多いので、内容の共有等を行っていけるような機会を設けていく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10			その日の様子やお子さんの発達を伝えたり、保護者様からの相談に応えるといった対応をしている。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	9	1		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10			契約時にご説明させていただいております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	5	保護者会は開くと良いと感じる。	開催の必要性など、保護者の要望に沿って対応できるようにしていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	1		されているのかよくわからないという意見があったので、今後様々なツールを用いた情報発信の仕方を検討していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10			個人情報の取り扱いについては徹底しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	4	行事はないが地域住民の理解を得ている。	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	3		定期的にマニュアルの説明や研修を行っていきけるようにしていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10		回数は少ないように感じる。	避難訓練等は行っているが、それを知ってもらえるような発信の仕方を検討します。回数を重ねられるようにしていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	3		全体で共有していきけるように配慮していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	2		一部の職員に説明が足りない部分があったので、今後は全体に周知できるようにしていく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	-	-	-	現在該当するお子様はいらっしゃいません。

〇この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 2年 3月 18日

公表:令和 2年 3月 23 日

事業所名 たけっこ

境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	1	狭いが2階も使えるので遊びやすいです。	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
						今後さまざまなスペースを有効活用した遊びに取り組んでいきます。
体制整備	2	職員の配置数は適切である	7	3	日によって大変な時もある。	急な職員のお休みに迷惑をかけることがあるが、できるだけ適切な人員配置ができるように心がけていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	3		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	4		様々な情報の共有など、広く職員が参加できる環境を整え、様々なプラン等の作成に携われるようにしていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	6	アンケート結果を詳しく知らない。	アンケート結果や要望などを全ての職員で共有できるように伝達の仕方を検討していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	5	見たことがないのでわかりません。	評価の仕方等職員が把握できるような環境設定を行っていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10		研修をしっかり受けています。	定期的なお子さんの発達に関する研修を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	2		保護者様の要望やニーズを踏まえ、子どもさんの発達年齢に応じた計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	3		子どもさんの発達年齢に合わせたアセスメントを使用している。スタッフ全員でしっかりと共有できるように情報共有をしていきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	3	立案に困ったら相談している。	皆で相談し合い、より良い活動プログラムを作っていけるように努めていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	1	なるべく同じようにならないように工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	3	時間がとれないことが多い。	打ち合わせに十分な時間を確保できるように努めていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	4	最近はできていないです。	事務処理等で十分な時間が確保できない場合があるので、時間が確保できる環境を整えていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	2		定期的なモニタリングを行い、お子さんに様子に合わせて内容を検討している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5	5		一部わからないという意見があったので、ガイドラインの理解が不十分な点は勉強会等で補っていく。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10		担当者会議の話は聞きたい。	職員が全体で共有できる方法を検討し取り入れていきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10		それぞれの学校に合わせた送迎が行えていると感じる。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	—	—	—	医療的ケアが必要なお子様は現在いらっしゃいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	3	しているとは思いますが、そこに関わったことがないのでわからない。	職員が情報共有し、関わっていけるように環境を整備していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	4	一部の方は受けています。	内容は共有できるようにしていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	4	散歩などで遊ぶことはあるが、機会が少ない。	そういった機会の必要性など検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	3	特定の職員が行っている。	内容は共有できるようにしていきます。また、他の職員も参加できるようにしていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10		お子さんにお迎え時にお話しています。	日々の課題や発達段階などは、しっかりとお話させていただいております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9	1		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10		契約時に説明している。	契約時にご説明させていただいております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			保護者様からの相談に対しては、詳しい職員が答えられるようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	5	していることを見たことがない。	保護者様のニーズに応じて対応していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	1	玄関に写真を貼って保護者に伝えています。	
	35	個人情報に十分注意している	10			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	4	行事はないが地域住民の理解を得ている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	4	職員間では周知しているが、保護者に対してはしていないと思う。	保護者様にもしっかりと周知できるような対応を行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	1	年に一度は行っている。	回数を増やし、様々な場合を想定した訓練を行っていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	2		一部わからないという意見があったので、全員に対応できるように徹底していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	—	—	—	現在該当するお子様はいらっしゃいません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10		アレルギーのあるお子さんには個別でおやつなど提供している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	3	現在はあまり共有できていないと感じる。	全体で共有していけるように配慮していく。

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 2年 3月 20日

公表:令和 2年 3月 23 日

事業所名 たけっこ

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内訳又は改善目標
環境・体制整	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	1		
	2 職員の配置数は適切である	8	2		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10			

業務改善	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10			
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	3		より職員が広く参加できる環境整備を行っています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	1		保護者様のアンケート結果を基に、より良いケアや日々の業務に繋げていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	4		外部評価をどのように行っていかを検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10			定期的なお子さんの発達に関する研修や勉強会を行っている。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	2		保護者様の要望やニーズを踏まえ、子どもさんの発達年齢に応じた計画を作成している。よりスタッフに周知できるようにしていく。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	2		子どもさんの発達年齢に合わせたアセスメントを使用している。スタッフ全員でしっかりと情報共有をしていきたい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	2		ガイドラインの内容が細かくわからないという意見があったので、そういった勉強会も行っていけるようにする。
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	2		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	3	司会の人を中心にしている	スタッフ全体で考えてケアを行っていけるようにミーティングを増やすなどしていく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9	1		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	1		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	3		全体で揃って行えないことがあるので、そういった時間を普段から作って皆が参加していけるようにしていく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	1		
	20	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	2		定期的なモニタリングを行い、お子さんに様子に合わせて内容を検討している。モニタリングについてはより多くの職員で行えるようにしていく。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10			
関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	-	-	-	医療的ケアが必要なお子様は現在いらっしゃいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	-	-	-	医療的ケアが必要なお子様は現在いらっしゃいません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	4		よくわかりませんという意見があったので、職員にしっかりと周知内容を把握してもらえるようにしていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	5		そういった機会はあまりないですが、保護者様や保育所等のニーズなどを基に検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	4		一部の職員が受けていることが多いので、内容の共有等を行っていけるようにしていく。

保護者への説明責任等	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10				
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	10				
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10				契約時にご説明させていただいております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10				
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	5			保護者会の内容は開催の必要性など、保護者の要望に沿って対応できるようにしていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10				
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	2			されているのかよくわからないという意見があったので、今後様々なツールを用いた情報発信の仕方を検討していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	0				個人情報の取り扱いについては職員に徹底しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10				
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	5			行事はないが地域住民の理解を得ている。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	2			定期的にマニュアルの説明や研修を行っているように、より周知していけるようにする。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	2			避難訓練等は行っているが、回数を増やし普段から対応できるようにしていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10				
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	1			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	2			一部で共有はされているが、全体でしっかりと行えるように徹底していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	2			一部の職員に説明が足りない部分があったので、今後は全体にしっかりと説明できるようにしていく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	-	-			現在該当するお子様はいらっしゃいません。

〇この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 2年 3月 20日

公表:令和 2年 3月 23日

事業所名 たけっこJ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
境・体制整	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10			
	2 職員の配置数は適切である	9	1	場合によっては不安なこともある。	職員のお休みで迷惑をかけることがあるが、できるだけ適切な人員配置を行えるようにしていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	3	全ての職員が共有できているとは言い難い。	広く職員が参加し、様々なプラン等の作成に携われる環境を整えていく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	1	保護者の意見を十分把握できていない。	保護者様のアンケート結果などはフィードバックし、皆でよりニーズに応えていけるようにしていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	4		評価の仕方など、職員が十分把握できるようにしていく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10		勉強会など知識を得る場面が多くと良い。	定期的にお子さんの発達や行動に関する研修を行っている。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	2	保護者様の要望やニーズを踏まえ、子どもさんの発達年齢に応じた計画を作成している。よりスタッフに周知できるようにしていく。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	2	子どもさんの発達年齢に合わせたアセスメントを使用している。スタッフ全員でしっかりと情報共有をしていきたい。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	3	司会が中心となっている。皆で考えていきたい。	職員間でしっかりと話し合い、連携を深めながら行っていくように努めていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10		子どもの動きを見て遊びや場面の切り替えができていと思う。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	1		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	3	共有できていない点もある。	全体でお子さんの様子等しっかり共有できるように努めていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10			
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	2		定期的なモニタリングを行い、お子さんに様子に合わせて内容を検討している。モニタリングについてはより多くの職員で行えるようにしていく。
関係機関や保護者との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っている	8	2		ガイドラインが十分理解できていない部分があったので、勉強会等で補っていく。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	—	—	—	医療的ケアが必要なお子様は現在いらっしゃいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	—	—	—	現在該当するお子様はいらっしゃいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	4		よくわからないという意見があったので、助言や研修の内容は皆に知ってもらえるように情報伝達に留意していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	5		散歩で外に出る時などは機会があるが、それ以外での機会については保護者様の意見も含め検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	3		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10			日々の課題や発達段階などは、しっかりとお話しさせていただいております。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	10		保護者と関わる機会にて、保護者や利用者のニーズに応えている場面は多いと思う。	相談があった場合など、家庭での関わり方などはお伝えさせていただいております。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10		契約時に説明している。	契約時にご説明させていただいております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			保護者様からの相談や悩みなどは共有し、専門知識を持った職員が答えられるようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	5		父母会の有無などは保護者様のニーズに応じて対応していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	2		写真等の掲示でお伝えしているが、他の方法も取り入れながら行っていくことを検討していく。
	35	個人情報に十分注意している	10			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	5		行事はないが地域住民の理解を得ている。
	非	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	2	全ての職員や保護者に周知されているとは言えない。
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	2	行っているが、回数は少ないと感じる。	訓練の回数を増やし、様々な場合を想定し、職員の指導を行っていく。

・常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	1	一部わからないという意見があったので、全員に対応できるように徹底していく。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	—	—	現在該当するお子様はいらっしゃいません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	2	保護者の指示の基に対応している。	アレルギーのある子に対する食事やおやつの提供には十分気をつけています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	1		

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 2年 3月 20日

公表:令和 2年 3月 23 日

事業所名 たけっこ稲沢

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			
	2	職員の配置数は適切である	7			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		もう少し話し合いたい。	より職員が広く参加できる環境を整え、業務改善に取り組んでいきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	2		保護者様のアンケート結果を基に、より良いケアや日々の業務改善等に繋げていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4		外部評価をどのように行っていくかを検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			定期的なお子さんの発達や心理背景等に関する研修や勉強会を行っている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7			保護者様の要望やニーズを踏まえ、子どもさんの発達年齢に応じた計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			子どもさんの発達年齢に合わせたアセスメントを使用している。スタッフ全員でしっかりと情報共有をしていけるような体制を整えていく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		できていない日もある。	日々しっかりと役割などを伝えていけるようにしていきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	話し合える日がある。	全体で揃って行えないことがあるので、ぞういった時間を普しっかりと確保し、皆が参加していけるようにしていく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7			定期的なモニタリングを行い、お子さんに様子に合わせて内容を検討している。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	2		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—		—	医療的ケアが必要なお子様は現在いらっしゃいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—		—	医療的ケアが必要なお子様は現在いらっしゃいません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	6		そういった機会はあまりないですが、保護者様や保育所等のニーズなどを基に機会の設け方などを検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	2		一部の職員が受けていることが多いので、内容の共有等を行っていけるようにしていく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	2	送迎やお迎え時にアドバイスしている。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			契約時にご説明させていただいております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	2		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7		保護者会の内容は開催の必要性など、保護者の要望に沿って対応できるようにしていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		年齢別の対応が難しい場合有。	保護者の相談にできるだけ対応できるように努めていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	4		されているのかよくわからないという意見があったので、今後様々なツールを用いた情報発信の仕方を検討していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7			個人情報の取り扱いについては職員に徹底しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	2	5	行事はないが地域住民の理解を得ている。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	2		定期的にマニュアルの説明や研修を行っていけるように、より周知していけるようにする。
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1		避難訓練等は行っているが、回数を増やし様々な状況に対応できるようにしていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		アレルギーの確認はしている。具体的な指示書はない。	保護者の連絡を基に対応しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		共有、話し合いは十分できていない。	一部では共有はされているが、全体でしっかりと共有し話し合いを行えるように徹底していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			一部の職員に説明が足りない部分があったので、今後は全体にしっかりと説明できるようにしていく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	—	—	—	現在該当するお子様はいらっしゃいません。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 2年 3月 20日

公表:令和 2年 3月 23 日

事業所名 たけっこ稲沢

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
境・ 体制整	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			
	2	職員の配置数は適切である	7			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7		玄関のみ段差あり。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		もう少し時間を取りたい。	時間を確保し、広く職員が参加し、様々な業務やプラン等の作成に携われる環境を整えていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1		保護者様のアンケート結果などはフィードバックし、職員全体でよりニーズに応じていけるようにしていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4		評価の仕方など、職員が十分把握できるようにしていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			定期的にお子さんの発達や行動、心理背景に関する研修を行っている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			保護者様の要望やニーズを踏まえ、子どもさんの発達年齢に応じた計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			子どもさんの発達年齢に合わせたアセスメントを使用している。スタッフ全員でしっかりと情報共有をしていきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			職員間でしっかりと話し合い、連携を深めながら行っていくように努めていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		できていない日もある	日々しっかりと役割などを伝えていけるようにしていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	話し合える日もある。	全体でお子さんの様子等しっかりと共有できるように努めていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			定期的なモニタリングを行い、お子さんに様子に合わせて内容を検討している。
関係機関 や保護者 との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6	1		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			-	医療的ケアが必要なお子様は現在いらっしゃいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	2		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	6		散歩で外に出る時などは機会があるが、それ以外での機会については保護者様の意見も含め検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			日々の課題や発達段階などは、しっかりとお話しさせていただいております。

保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	2	送迎やお迎え時にアドバイスしている。	相談があった場合やお子さんの状態に応じて、家庭での関わり方などはお伝えさせていただいております。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に説明している。	契約時にご説明させていただいております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			保護者様からの相談や悩みなどは共有し、専門知識を持った職員が答えられるようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	6		父母会の有無などは保護者様のニーズに応じて対応していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	3		写真等の掲示でお伝えしているが、他の方法も取り入れながら行っていくことを検討していく。
	35	個人情報に十分注意している	7			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4	行事はないが地域住民の理解を得ている。	
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	2	作成中だと思う。
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1		訓練の回数を増やし、様々な場合を想定し、職員の指導を行っていく。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			一部わからないという意見があったので、全員に対応できるように徹底していく。
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	2	—	現在該当するお子様はいらっしゃいません。
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1	アレルギーの確認はしている。具体的な指示書はない。	保護者の連絡を基に対応しています。
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		共有、話し合いは十分できていない。	一部では共有はされているが、全体でしっかりと話し合いを行えるように徹底していく。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2 年 3 月 23 日

討議年月日:令和 2 年 3 月 19 日

事業所名

たけっこS

境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
境・体制整備	1	7		天井も高く、スペースは適切に確保されている。	天井が高いため、より広いと感じるスペースで遊ぶことができています。
	2	5	2	もう少し余裕があると良い。足りていないと感じる。	職員のお休みで迷惑をかけることがあるが、できるだけ十分な数の人員配置を行えるようにしていきます。
	3	7			
業務改善	4	1	6	職員全員が情報共有できていない。今後はしていきたい。	様々な情報の共有など、広く職員が参加できる環境を整え、様々なプラン等の作成に携われる環境を整えていく。
	5	3	4	繋げているかどうかわからない。	アンケート結果の共有とその後の対応は皆で共有できるようにしていく。
	6	6	1		
	7	1	6	第三者からの評価はしていないと感じる。	評価体制の共有や見直しを行っていく。
	8	7		月2回以上の研修を行っている。	お子さんの発達や行動、心理に関する研修をしっかりと行っている。
適切な支援	9	5	2		保護者様の要望やニーズをしっかりと理解し、子どもさんの発達年齢に応じた計画を作成している。職員にしっかりと周知できるようにしていく。
	10	5	2		子どもさんの発達年齢に合わせたアセスメントを使用している。スタッフ全員でしっかりと情報共有をし、よりお子さんの様子をしっかりと捉えていきたい。
	11	6	1		
	12	5	1		
	13	7		季節に応じた遊びや活動を行っている。	
	14	7			

の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	2	時間を十分設けられていない。	打ち合わせに十分な時間を確保できるように努めていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	4	振り返りは十分できていない。	事務処理等で十分な時間が確保できない場合があるので、時間が確保できる環境を整え、支援の内容の共有に努めていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	2		定期的なモニタリングを行い、お子さんに様子に合わせて内容を検討している。モニタリングについてはより多くの職員で行えるようにしていく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	2	4	ガイドラインを一部理解できていない。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	-	-	-	医療的ケアが必要なお子様は現在いらっしゃいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	1		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	-	-	-	現在該当するお子様はいらっしゃいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4	実際に行われているかわからない。	助言や研修の内容は皆に知ってもらえるように情報伝達を行っていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	6	そういった機会は設けていない。散歩に出た時に少しある程度。	散歩で外に出る時などは機会があるが、それ以外での機会については保護者様の意見も含め検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	3	自分は参加したことがない。	内容は共有できるようにしていきます。また、様々な職員に参加の機会を設けていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			そういった機会の必要性など検討していく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1	契約時に説明している。問い合わせがあった場合にも対応している。	契約時にご説明させていただいております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			保護者様からの相談や悩みなどは素早く共有し、詳しい職員が答えられるようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7		保護者様のニーズに応じて対応していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	34	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	2	会報は出していないが、作ったものなどは玄関に飾るなどしている。	写真等の掲示でお伝えしているが、他の発信の仕方も検討していく。
	35	個人情報に十分注意している	7			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7		地域との関わり方については検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	4	職員は周知しているが、保護者への周知は足りていない。	保護者様にもっと周知できるような対応を行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	3		訓練回数を増やし、様々な場面や状況を想定した訓練を行っていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1		一部わからないという意見があったので、全員に対応できるように徹底していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	-	-	-	現在該当するお子様はいらっしゃいません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	2		全体でしっかりと共有していけるように配慮していく。